

記者会見の案内

2007年8月15日

記者の皆さま

呼びかけ人代表 弁護士 中山武敏

私たちは、平和を希求し、侵略戦争を廃絶することを願っている市民の有志です。

先日、ヒゲ隊長こと佐藤正久参議院議員が、集団的自衛権に関する政府の有識者懇談会に関するニュースにおいて、イラクに派遣された陸上自衛隊の指揮官だった立場から、当時現場では、事実上の「駆けつけ警護」を行う考えだったことを明かしたことが伝えられました。

報道によると、佐藤議員は、「自衛隊とオランダ軍が近くの地域で活動していたら、何らかの対応をやらなかったら、自衛隊に対する批判というものは、ものすごく出ると思います」と述べた上、もしオランダ軍が攻撃を受ければ、「情報収集の名目で現場に駆けつけ、あえて巻き込まれる」という状況を作り出すことで、憲法に違反しない形で警護するつもりだったと説明し、その理由として、「巻き込まれない限りは正当防衛・緊急避難の状況は作れませんから。目の前で苦しんでいる仲間がいる。普通に考えて手をさしのべるべきだという時は（警護に）行ったと思うんですけどね。その代わりに、日本の法律で裁かれるのであれば喜んで裁かれてやろうと」と発言したそうです。

上記報道が正しければ、佐藤議員の言う「巻き込まれる」行為は、外形的には、正当防衛・緊急避難の好況下での攻撃を導くものですが、それは意図的に緊急状態を作出したうえでの攻撃であり、実質的には、正当防衛・緊急避難の要件を満たさず、自衛隊法に違反するばかりか、憲法9条をないがしろにするうえ、自衛隊派遣の国会決定の意図を超えた行動を行うものでありシビリアンコントロールをも無視する許し難い行為というほかありません。

そこで、私たちは、2007年8月16日、佐藤議員及び佐藤議員を議員候補として推薦した自民党総ある安倍晋三氏に対し、公開質問状を送ります。

つきましては、公開質問状についてご説明し、かつ、私たちの見解を説明させていただく機会を、8月16日午後3時、参議院議員会館内会議室にて設けたいと思いますので、ぜひ、ご出席いただければ幸いです。

連絡は、弁護士杉浦ひとみ（児玉法律事務所。FAX 03-3535-2755）までお願いいたします。